

# 平成20年度 南丹市事業評価表 (平成19年度 実施事業)

事業CD. 5308 事業名: 観光協会事業  
 細事業名: \_\_\_\_\_

政策体系上の位置付け (参考)  平成20年度～ 総合振興計画実施事業

政 策: 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る  
 基本施策: 4 ひとを温かく迎える  
 主な施策: (1) 観光ネットワーク

所管部署名  
 部局名: 農林商工部  
 課 名: 商工観光課

科目CD. 1070103 作成日 平成20年10月23日

事業分類: B:ソフト事業  
 新規事業  時限事業 (平成 年度迄)

実施根拠 (法令、条例等)  
観光立国推進基本法

事業運営方法  直営  一部委託  全部委託  補助等  
 委 託 先  民間  三セク  NPO  学校  自治会・地縁団体  
 その他 ( )

## 事業概要

◆ 課題・目的 (どのような課題を解決するために実施した事業なのか)  
 観光の拠点である観光協会の円滑な運営と事業支援を行うことにより、市の知名度を効果的に向上させ市内への観光客数および観光消費額を増加させる。

◆ 活動内容 (具体的にどのような活動を行ったのか)  
 観光地としての南丹市のレベルアップと知名度の向上を図り、観光ネットワーク体制を確立するため、市内の観光協会の運営及び事業実施を支援する。  
 観光協会の運営費補助

◆ 対 象 (この事業を実施するにあたり、ターゲットとした者(物)は何か)  
 観光関連市内業者

◆ 結 果 (この事業を実施したことにより、どのような効果または結果が得られたのか)  
 観光協会が事業実施することにより市の知名度の向上と集客による地域経済への波及が図れた。

指 標		単 位	18実績	19実績	20予算	21計画
活 動 指 標	① 補助金交付					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
対 象 指 標	① 市内観光協会					
	②					
	③					
成 果 指 標	① 観光入込客数					
	② 観光消費額					
	③					

## 市民や議会等からの要望・意見 (要望や意見の内容とその内容を確認した手段は何か)

## 近隣市町村や民間企業での同種事業の実施状況

亀岡市では協会が中心に観光宣伝を積極的な展開をされている。

決算(予算)額	(千円)	9,040	10,654	8,523	7,974
財 源 内 訳	使用料・手数料等	(千円)	0	0	0
	国・府支出金	(千円)	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0
	一般財源	(千円)	9,040	10,654	8,523
職員従事時間	(人)		0.38		
人件費 ※	(千円)		2,777		
トータルコスト ※	(千円)		13,431		

※人件費は、職員の給与・諸手当・共済などから、一定の基準に基づき算定したおおよその額です。  
 ※人件費およびトータルコストは、あくまでも参考値です。

**【公共性の評価】**

(1) 行政の守備範囲 (民間や市以外の機関等が実施すべき事業ではなかったか)  
 法令等により定められた事業     市が実施すべき事業     行政内部の事業  
 民間等での実施は見込めない     民間等での実施も可能

説明: 本市の観光状況では、協会員による自主運営は難しいため

(2) 事業選定の妥当性 (事業の目的や意図が政策や施策の目指す方向にあっているか)  
 施策等の実現に向けた事業     施策等の方向とマッチしていない

説明: 観光協会の事業費補助のため

(3) 対象の妥当性 (事業の本質から考えて的を得た対象を定めているか)  
 本質に沿った対象である     的を得た対象となっていない

説明: 観光協会の事業費補助のため

**【有効性の評価】**

(4) 課題解決への有効度 (目的の達成や、課題解決のために有効的な事業か)  
 かなり有効的     当初の予想どおり     予想しても有効的でなかった

説明: 事業計画に沿った運営が行われている

(5) 施策実現に対する有効度 (総合計画の施策実現に対して有効的な事業か)  
 かなり有効的     当初の予想どおり     想定よりも有効的でなかった

説明: 事業計画に沿った運営が行われている

(6) 成果向上の余地 (施策実現に向け更なる成果向上の余地はあるか)  
 大きい     小さい     無い

説明: より効果的な協会運営が必要

(7) 類似事業との統合・再編・連携の余地 (他の類似事業と統合や連携ができないか)  
 統合や連携等の検討可能     統合や連携はできない     類似事業がない

説明: 観光協会の合併、統合が必要

**新たに生じた課題・解決できなかった課題等**

観光協会の自立運営、統合など。

**改革案 (いつ、どのような改革を、どのような手段で行うのか)**

自主団体であり、必ずしも統合は必要ないので、今年度は、連絡会などを立ち上げ、組織自身の問題意識の共有化をはかる。

**【緊急性の評価】**

(8) 課題解決への緊急度 (なぜ早期に実施しなければならなかったか)  
 法令等により期限がある     他事業よりも効果が大い     早期の取り組みが必要  
 他事業よりも優先度が高い     市民の生命・財産を守るため     緊急性は低い

説明: 観光協会の存続に関するため

**【効率性の評価】**

(9) コスト削減の余地 (事業内容、職員労力、仕事の進め方などから)  
 削減の余地あり     削減の余地なし

説明: 合併、統合による規模のメリットを生かすべき

(10) 受益者負担の適正 (社会状況等から受益者の負担は適正か)  
 正当な受益者負担     見直す必要あり     負担を強いる事業ではない

説明: 利益を求める事業ではないため

**【協働性の評価】**

(11) 市民との協働による事業実施 (協働による実施を検討したか)  
 協働事業には不向き     協働では実施していない     協働で行ったが主体は行政  
 協働で行ったが住民主体は一部     市民等が主体となって実施

説明: 協働には至っていない

(12) 協働事業としての推進の余地 (今後、協働による推進できる余地はないか)  
 余地あり     余地なし

説明: 観光ボランティアの育成など

**所 属 長 総 括 評 価**

南丹市域の観光レベルの向上及び知名度の向上並びに観光ネットワークを構築する上で必要な事業であり、また地域経済の活性化のために不可欠な施策である。なお、各エリアの観光協会の合併、統合によるスケールメリットの拡大を検討する必要があると考える。

**※事務局使用欄**

一次評価	廃止	観光宣伝事業と事業統合した上で、市をPRする観光協会へ補助をだすこととしてはどうか。
二次評価	要改善 (拡大)	地域の独自性の強い面もあるが、観光協会の合併、統合も視野に入れて事業の展開を図る。